

第3学年図工科 年間指導計画 H 2 3 年度

目 標

- (1)進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにします。
- (2)材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにします。
- (3)身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにします。

年間学習計画

学期	題 材 名	学 習 活 動
前 期	よさを見つけて 大すき自分の線と 色	・よさを見つけて、自由に絵を描く。 ・様々な形の線を考え試しながら、クレヨン・パスを使い一筆書きでかく。
	楽しくつかおう	・つくりたいものを思い浮かべ、空き容器などを組み合わせ、セロハンテープで接合する。
	広がれつながれ	・ポリ袋をつなぎ方を工夫しながらつなげ、様々なものを作る。
	こんなことがあつた	・こんなことがあったらいいな、楽しいなと思うことについて友人と話し合ったり、物語を考えたりし、想像したことを楽しさや面白さを自分なりに工夫して絵に表す。
	切ってけずって	・粘土のかたまりを切り糸で様々な形に切ったり、かきべらで削ったりして楽しむ。
	ふわりクルクル風 パワー	・ポリ袋やスズランテープなどで、動きに合うような形をつくる。完成した作品を風で動かし、友人と作品の面白さを味わう。
	ゴムの力でトコトコ	・ゴムで動くおもちゃを、動く仕組みを考えながら作る。スムーズに動くか試してみる。
	光を通して	・ローラーや刷毛、色セロハンなどを使い、光を通したときに美しく見える形や色をつくる。
	ガラスびんのへん しん	・イメージした人になるように、瓶に紙粘土や身边材を工夫して組み合わせたり、色や模様を付けたりする。

	<p>ものがたりのせかい</p> <p>アートたんけんたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 好きな場面がどのような様子か想像して、どんなふうに表したらよいか考えながら絵に表す。 身の回りにある自然や人工物などの見方を工夫し、面白い形や色を見つけて写真に撮る。
後	<p>あのときをわすれな</p> <p>い</p> <p>自ぜんからのおくり</p> <p>もの</p> <p>クルクルメカでクル</p> <p>リン</p> <p>ざいりょうからひら</p> <p>めき</p> <p>虫さんランド</p> <p>トントンサクサク木</p> <p>の名人</p> <p>クルクミックス</p> <p>やさしいモンスター</p> <p>はんをつかって</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の日々の生活を振り返って、自分自身が見たり感じたりして心に残った出来事を思い浮かべる、そのとき的心情が伝わるように形や色を考えて絵に表す。 お気に入りの場所を見付け、身近にある自然の材料を探し、材料を生かして思い付いたものをつくる 割りピンを使って絵を回転させることを知り、割りピンをとめる位置や背景にかくものの配置を考え、試行錯誤しながらかく。 これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて集めた材料を切ったり、つなげたりするなど、加工しながら画用紙に貼る。 粘土と自然材を使い友人と協力して、虫の遊び場を作る。 金づちの扱い方、釘の打ち方、小刀使い方を知る。つくりたいものに合わせて、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方をどのように工夫するか考えて表す。 ダンボールを使って、イメージを広げ、大きさのあるものをつくりだす。 やさしいモンスターの得意技などを考え、その姿や動きなどの特徴を想像し、紙粘土で表現する。 材料を生かした版のつくり方や、様々な刷り方を知り、版をつくったり、原版を利用したり、刷り方を工夫したりする。

評価について

自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。

感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。

手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。

身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じとったりしている。

